

■（２６０）オスプレイ飛来と無線機とカメラ抱える少年ら

墜落など事故続きの米空軍のオスプレイ 5機が 5 日、東京西部の横田基地に飛来してきました。すぐに国外での訓練に向かうものの、夏ごろには戻って常駐するそうです。

飛来を確認しようと朝から基地を一望できる場所で待つと、カメラを抱えた少年が現れました。オスプレイを撮影したいそうです。耳にイヤホンで、そのコードは手に抱える小型無線機につながります。基地管制と航空機との無線交信を傍受しながら、シャッターチャンスを狙っているそうです。英語の交信内容を聞き取り、飛行状況を周囲に伝えてくれます。基地フェンス脇を確かめると、同じように無線機を持つ大人たちがいます。どうやら、航空機の写真撮影をする人たちの間では無線機は必需品のようです。昼前に飛来した時、待ち構えていたのは、そんなカメラマンがほとんどでした。

ただ、沖縄以外で初めてのオスプレイ配備は、沖縄と同様に、周囲の住宅街にとっては一大事です。声なき不安を広く伝えるのもまた、私ら報道の使命だと思っています。（山）